
担任は学級のリーダー!!

PM理論で考える!!

あなたは何型？



学級におけるリーダーとは？

担任は、学級のリーダーであり、サポーターでもありますが、学級を正しい方向へ適切にゴールへ導くことが担任の最大任務であることを考えると、学級という1つの組織のリーダーであることは揺るがない事実です。

そして、リーダーシップには一定の型があるというのがPM理論です。

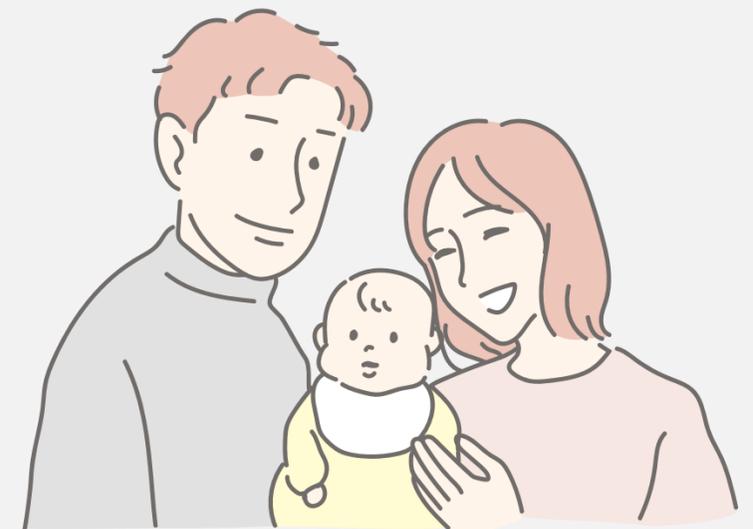
PM理論で、理想の担任の型を考察しましょう。



PM理論とは？

PM理論とは、リーダーに必要な要素は「目標達成のP機能」と「集団維持のM機能」の2つで、さらにそれぞれを強弱に分類した4パターンであるとする理論のことです。

別名「パパママ理論」とも呼ばれています。パパのような厳しさを目標を達成させ、ママのような優しさを学級をまとめる人物こそが理想的なリーダー像であると唱えています。



PMチェック

次のチェックテストを行ってみてください。単純な数値の合計ではないので、問題ごとに数字を記録しておいてくださいね。

5 : あてはまる

4 : ややあてはまる

3 : どちらでもない

2 : ややあてはまらない

1 : あてはまらない



PMチェック

1. ひそひそ話やうわさ話はやめるように指導している。
2. 学級の約束は明確で、子ども達も認識している。
3. 問題が起こった時、その原因や責任をうやむやにしない。
4. 目標や計画の内容は明確に担任が把握している。
5. 授業中の不要な私語はきちんと指導する。

5 : あてはまる

4 : ややあてはまる

3 : どちらでもない

2 : ややあてはまらない

1 : あてはまらない

PMチェック

6. 人をバカにしたり、からかうような場面を見ることがある。

7. ルールがあっても、例外を認めることがある。

※ 6・7は、数値が逆になります。

5 : あてはまらない

4 : ややあてはまらない

3 : どちらでもない

2 : ややあてはまる

1 : あてはまる

PMチェック

8. 学級には、みんなで協力する雰囲気がある。
9. 子どもと気楽に話をする。
10. 子どもの個人的なことも気にかけている。

5 : あてはまる

4 : ややあてはまる

3 : どちらでもない

2 : ややあてはまらない

1 : あてはまらない

PMチェック

11. 学級の子ども達は一人になりがちな子どもにもよく声をかける。
12. 子ども達をほめることが多い。
13. 子ども達の人間関係を育むような工夫をしている。

5 : あてはまる

4 : ややあてはまる

3 : どちらでもない

2 : ややあてはまらない

1 : あてはまらない

14. どちらかと言えば、学級の雰囲気はかたく、静かだ。

※14だけは数値が逆になります。

5 : あてはまらない

4 : ややあてはまらない

3 : どちらでもない

2 : ややあてはまる

1 : あてはまる

PMチェック

回答は、記録できましたか。

【質問1～7】はP型行動

【質問8～14】はM型行動

という分類になります。

例えば、どちらの区分も合計数値が**26以上**だと**P型・M型**のリーダーであるということです。

つまり、PM型リーダーとなります。

【問題1～7】

- ★数値が2.6以上→P型行動
- ★数値が2.6未満→p型行動

【問題8～14】

- ★数値が2.6以上→M型行動
- ★数値が2.6未満→m型行動



PMチェック

ちなみに、まっつはP型の数値が25、M型の数値が28だったので、M型の行動は取れているということになります。合わせると、pM型ということになります。では、P型・M型とはどういうものなのでしょうか。



PM型とは？

P型行動とは、「集団の目標達成に焦点化した行動のこと。役割を明確にし、計画を立て、細かい点まで明確にする。」

M型行動とは、「集団自体の維持・強化に焦点化した行動のこと。良いことは褒め、平等に取り扱い、彼らの自尊心を維持し、子どもが気楽さを感じるように努め、近づきやすい。」

というものです。

ざっくり表現すると、P型は「俺についてこい!!」的なリーダーで、M型は「みんな!頑張ろうね!」的なリーダーです。

さらに細かくPM型を分類すると次のようになります。

PM型とは？

【pm型行動】

目標達成能力も集団をまとめる能力も弱い。
成果を上げることもなく、周りに無関心なタイプ。
リーダーシップがない。

【Pm型行動】

目標達成能力は高いが、人望がない。
目標を明確に定め、厳しく管理し、成果を上げるが、
学級の団結力は弱い。

PM型とは？

【pM型行動】

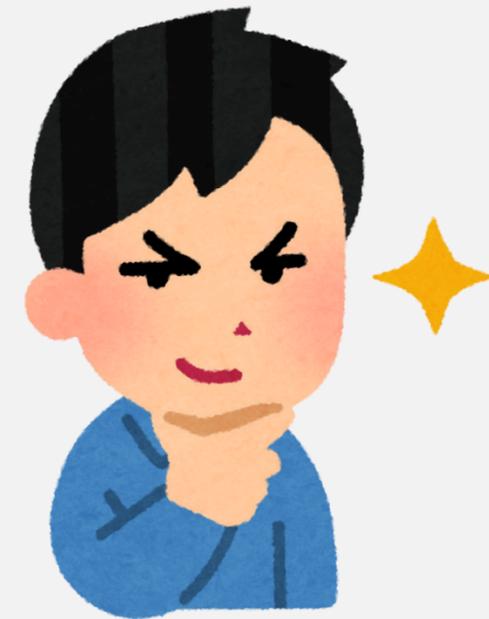
集団をまとめる力はあるが、成果を上げる力が弱い。仕事で発揮する能力が弱いが、部下の面倒見はよく、慕われている。友人関係のようなリーダー像。

【PM型行動】

理想的なリーダーシップをもつ。目標を明確にして成果を上げ、チームワークを重んじ、集団をまとめあげる。

PM型とは？

PM型行動を取るリーダーが理想的と書きましたが、学級の実態によっては、PM型ではない方がよい場合もあります。



モチベーションが低い学級には？

モチベーションが低い子どもが集まった集団は、
低達成動機群と言われますが、そういった集団では、
PM型担任よりもPm型担任の方が成果を上げるという
データもあります。だるそうにしている子ども達に

「さあ!やるぞ!頑張るぞ!!」という担任がいれば、一歩を
踏み出せる子ども達が多くなるということです。

PM型担任が万能ではないということを頭に入れておき
たいですね。

モチベーションが低い学級には？

また、低達成動機群では、学期はじめに限り、PM型担任よりもpM型(友人関係型)、pm型(無関心型)の方が成果が出るといったデータもあります。

ルールや目標がふわっとした指導の方が、最初は成果が上がるようですね。

ここで、誤解してはいけないのは、あくまで学期はじめに限りであることです。低達成動機群でずっとpM(友人関係型)だと、断トツで成果が低い学級になります。あくまで、最初だけなんですね。

達成動機とは？

達成動機とは、価値のある目標を成し遂げようとする意欲や気持ちです。

達成動機が低い人は、失敗したくないという失敗回避傾向が強いと言われています。



モチベーションが低い学級には？

ここで誤解してはいけませんが、あくまで学期はじめに限り有効であるということです。

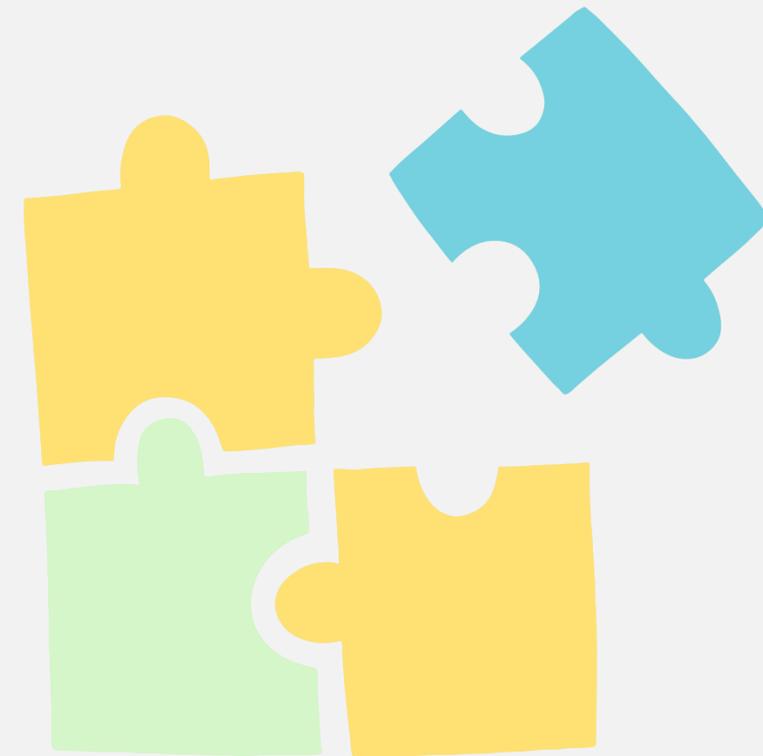
低達成動機群でずっとpM担任(友人関係)だと、断トツで成果が低い学級になるようです。

あくまで最初だけなんですね。細かく見ると、有効であるのは、

①Pm②PM③pm④pMの順になります。

リーダーシップスタイルと学級の傾向

最後に、リーダーシップスタイルと学級の傾向を
まとめてみました。



リーダーシップスタイルと学級の傾向

①PM型【指導・援助統合型】

- ・学級は望ましい状態・学級満足度は高い

②Pm型【強い指導型】

- ・学級は承認されない状態・担任への不満をもつ

③pM型【援助優位型】

- ・学級はルール未確立・疎外感や不満をもつ

④pm型【指導・援助喪失型】

- ・学級は拡散した状態・まとまりなし・学級崩壊

リーダーシップスタイルと学級の傾向

PMの診断があくまで自己評価なので、あまりあてにならないかもしれませんが、実際に学級経営をしているときに感じている感覚と一致するので、一概に無視できるものでもないように感じます。

自分がもった学級にモチベーションの低い子どもが集まっていたら、寄り添うのも大切ですが、ぐいぐい引っ張り上げる力強さを発揮しないといけないなということを忘れずに学級経営をしていくとよいのでしょうか。